



人間の血管の長さはどれくらいなの

人間の血管の長さは10万キロメートル

血管は、体のすみずみにまで血液を送るための、大切な通りみちの管です。

人間の血管は非常に長く、なんと10万キロメートルもあるのです。これは、地球をふた回り半もする長さなのです。

10万キロメートルの95%以上は毛細血管

血管の長さの10万キロメートルのうち、95%以上は、毛細血管とよばれる、細い血管です。毛細血管は、ものすごく細く、顕微鏡を使わなければ見えないほどです。

この毛細血管は、人間の体のほとんど全身に、網の目のように張りめぐらされていて、血液の運んできた酸素や栄養を、細胞へ送りこんだり、細胞から二酸化炭素やいらなくなったものを受け取る、大切な役目をしています。

(監修・保志 宏)

